

会社概要



都市圏輸送



高速鉄道



地方交通

営業キロ: 7,457 km

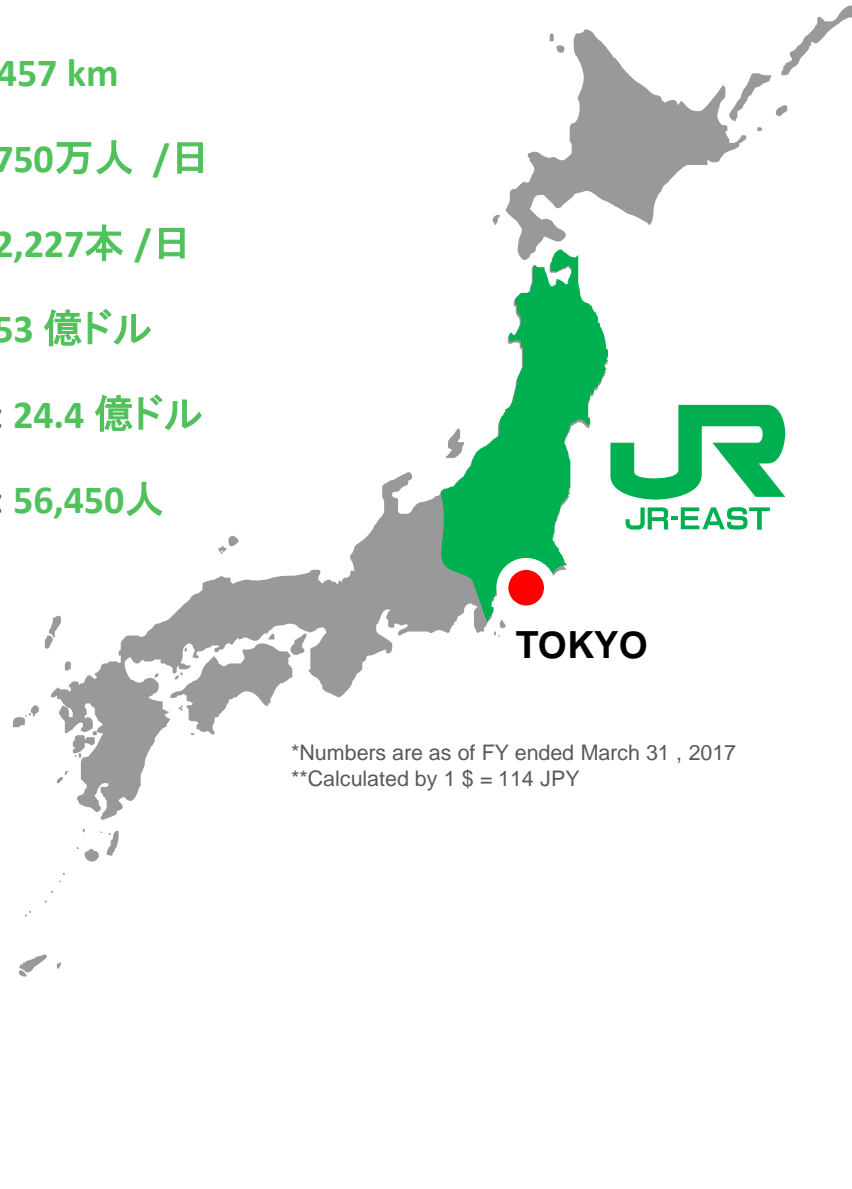
輸送人員: 1750万人 /日

列車本数: 12,227本 /日

営業収益: 253 億ドル

当期純利益: 24.4 億ドル

総従業員数: 56,450人



TOKYO

*Numbers are as of FY ended March 31, 2017

**Calculated by 1 \$ = 114 JPY

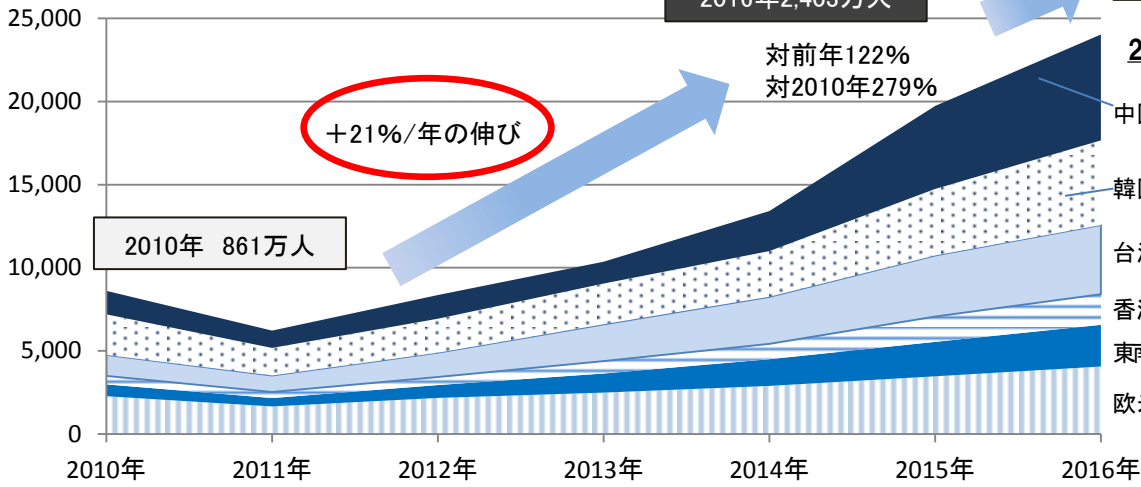
訪日旅行者数とインバウンド収入の推移

訪日旅行者数の推移

(千人) JNTO「訪日外客数」

+14%/年の伸び

2020年政府目標
4,000万人



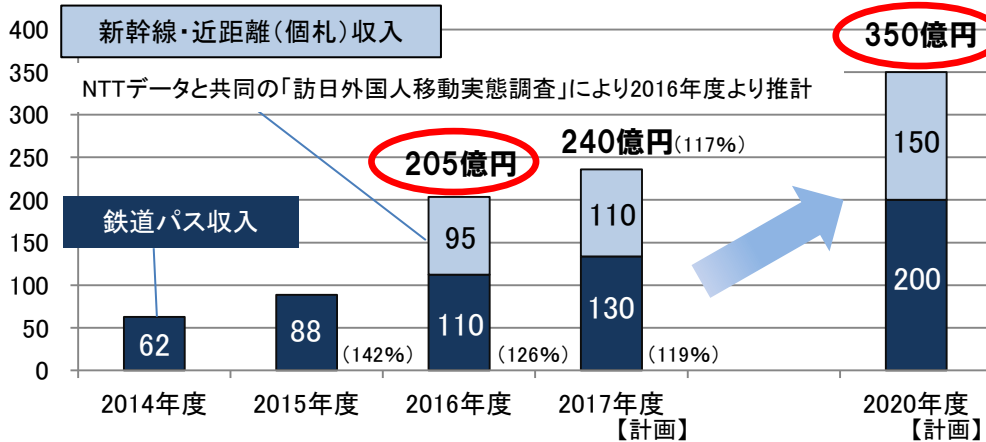
2016年国別実績

() 内はシェア

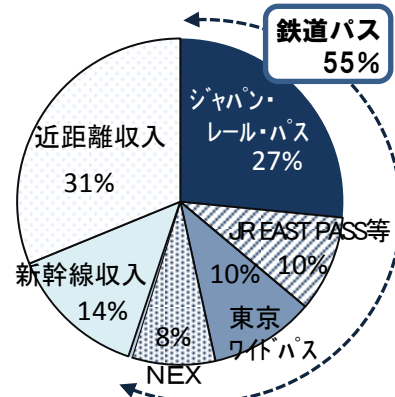
- 中国 (27%) 対2010年451%
- 韓国 (21%) 対2010年209%
- 台湾 (17%) 対2010年329%
- 香港 (8%) 対2010年362%
- 東南アジア (10%) 対2010年353%
- 欧米他 (17%) 対2010年179%

インバウンド収入の推移

(億円)



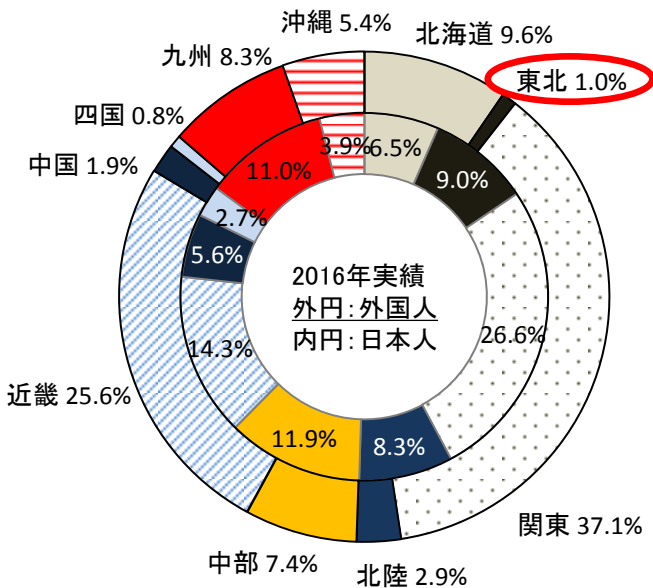
商品別シェア(2016年度)



エリア別の訪日旅行者の動向

観光庁「2016年宿泊旅行統計」

【エリア別シェア(2016年)】



【エリア別宿泊者数(2016年)】

2016年実績 (千人泊)	日本人			外国人		
	宿泊数	対前年	対2010年	宿泊数	対前年	対2010年
北海道	22,839	99%	108%	6,120	113%	298%
東北	31,562	97%	106%	641	122%	127%
関東	93,117	97%	105%	23,742	101%	186%
北陸	28,912	97%	106%	1,874	121%	284%
中部	41,685	98%	112%	4,744	97%	236%
近畿	50,117	97%	111%	16,430	111%	317%
中国	19,559	96%	109%	1,235	124%	327%
四国	9,543	100%	106%	526	147%	422%
九州	38,508	97%	111%	5,293	105%	278%
沖縄	13,696	97%	111%	3,464	101%	783%
全国	349,539	97%	108%	64,068	106%	246%

2017年1~7月実績(速報)外国人宿泊者数

東北469千人泊(対前年146%)

《参考》関東対前年107%、全国対前年108%

JR東日本グループのインバウンド戦略の推進

地域と連携した立体観光による流動創造

2016年3月
北海道新幹線開業

東京～東北各都市～北海道
と伸びる新幹線ネットワーク

+

2016年7月
仙台空港民営化

仙台空港を中心とした
航空路線網

立体観光による広域周遊

観光庁認定

東北観光推進機構「日本の奥の院・東北探訪ルート」

当社の商品設定による支援・連携

①鉄道パス:鉄道周遊ニーズにあわせ、方面別にフリーパス商品を設定

商品名	主なエリア	有効期間	価格※
ジャパン・レール・パス	全国 (のぞみ・みずほ除く)	連続7、14、21日	海外29,110円 国内33,000円
JR EAST PASS(長野・新潟)	関東+長野・新潟	フレキシブル5日	海外17,000円 国内18,000円
JR EAST PASS(東北)	関東+東北	フレキシブル5日	海外19,000円 国内20,000円
北陸アーチパス	東京～北陸～京阪神	連続7日	海外24,000円 国内25,000円
JR東日本・南北海道レールパス	関東+東北+南北海道	フレキシブル6日	海外26,000円 国内27,000円
JR東北・南北海道レールパス	東北+南北海道	フレキシブル5日	海外19,000円 国内20,000円
JR東京ワイドパス	関東	連続3日	10,000円 (国内のみ)
N'EX TOKYO Round Trip Ticket	成田空港～東京の往復	14日	4,000円 (国内のみ)

※最も有効日数の少ない商品の大人の価格

②旅行商品:航空券・着地素材を組み合わせた立体観光型商品を設定

鉄道パス

+
国際航空券

+
宿泊
着地観光素材


連携先の航空会社(発売終了したものも含む)

【中国】中国国際航空、JAL 【台湾】中華航空、Scoot、タイガー、JAL 【タイ】JAL

海外(現地)プロモーション展開(海外旅行会社との提携、旅行博出展や各種メディア宣伝など)

東南アジア:「JR東日本東南アジア営業センター」の開設(2017年12月)

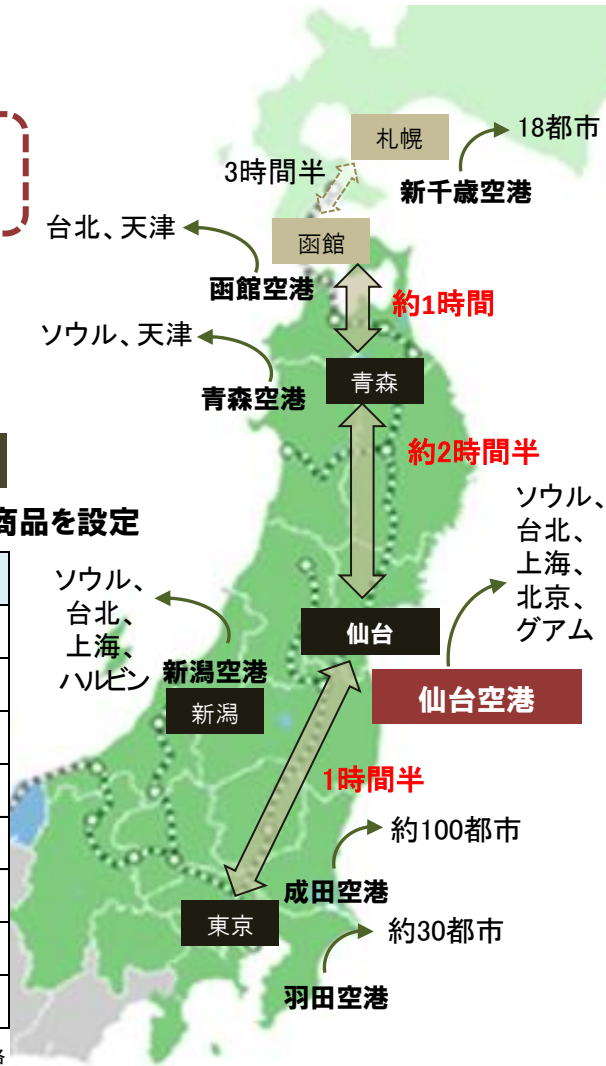
台湾:「創造旅行社」への出資と提供強化(2014年7月)

その他、中国、タイ、香港等で現地旅行会社との提携強化



シンガポール「JAPAN RAIL CAFÉ」(2016年12月～)

日本各地の魅力を発信する拠点としてカフェを運営
鉄道パスを発売する旅行カウンターを設置、週末には地域のイベントを開催

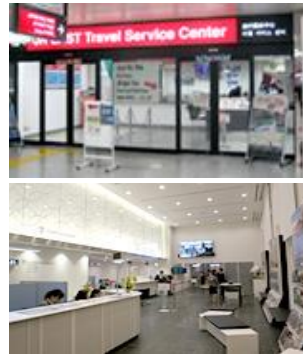


JR東日本グループのインバウンド戦略の推進

訪日外国人旅行者の受入体制整備

「JR東日本 訪日旅行センター」の整備・拡大

箇所	開設	窓口増強
成田空港駅	2004年11月	2015年3月+1
空港第2ビル駅	2004年11月	2017年1月+4
羽田空港	2010年10月	2016年2月+4
東京駅	2012年10月	2016年6月+5
新宿駅	2014年12月	新設+3
池袋駅	2016年10月	新設+3
渋谷駅	2017年12月予定	新設+3
仙台駅	2016年4月	新設+1



東京駅に祈祷室設置
(2017年6月～)

外国人向けインターネット予約サービス「JR-EAST Train Reservation」の拡充

2016年2月～

多言語化・オンライン化

英語のみ → 英語、中国語（繁・簡）韓国語
オペレーターが24時間以内に回答 → 予約申込み時に即時回答



2017年2月～

予約対象列車の拡大

JR東日本エリアのみ
→ JR北海道エリア、北陸新幹線（JR西日本エリア）への拡大

予約対象列車拡大区間



東北の観光案内所の整備・標準化

外観・設備の統一的な整備
JNTO認定取得などサービス内容の標準化
2017年3月秋田駅、7月鶴岡駅、8月郡山駅、9月二本松駅



TRAIN SUITE 四季島

- 2017年5月1日より運行開始
- 2017年度基本コース
【春～秋】3泊4日（東日本・北海道）1泊2日（山梨・信州・会津）【冬】2泊3日（東北）
※基本コース以外に「東日本の旬」コースを3本設定。

2017年5月～2018年6月出発分平均倍率6.6倍
2018年4～6月出発分で海外からの申し込みが1割超

2018年度より、海外旅行会社への発売を実施



「鉄道の旅」の魅力の提供と、地域との懸け橋としての役割を果たす

当社が目指すグローバル事業

コンサルティング事業
(JIC)

オペレーション(O)
&
メンテナンス(M)

グループ経営構想 V

<海外鉄道プロジェクトに積極的に参画し、
グループの成長を目指す>

鉄道車両製造
(J-TREC)

新車案件の受注

インド
(高速鉄道案件)

インドネシア
(ジャカルタMRT他)

各種コンサルティング

タイ
(パープルライン JTT マンテナンス)

イギリス
(鉄道フランチャイズ事業)

インドネシア
(PT-KAI, PT-KCI)

各種案件への参画を通じて得られた
経験を蓄積し、今後の事業に活かす

国内外を問わず、社外より、
海外ビジネスの情報を収集し、
絶えず新たな案件の調査を継続していく

都市鉄道関連で、最善と思われる案件を模索する

主な海外鉄道プロジェクト一覧

高速鉄道

都市鉄道



英国：旅客鉄道事業フランチャイズ



タイ：バンコクパープルライン



インドネシア：
中古車両譲渡・技術支援

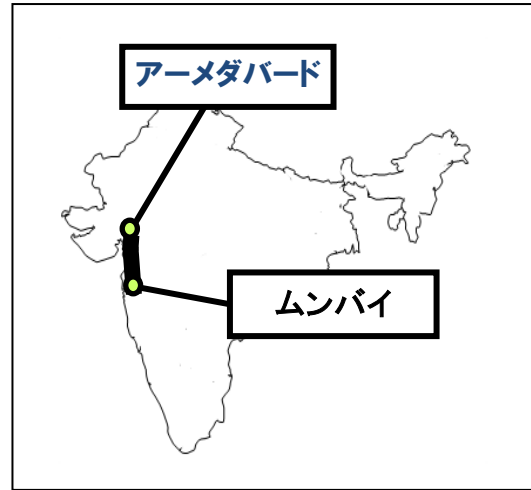


インド：高速鉄道計画

インド高速鉄道計画への参画

【概要】

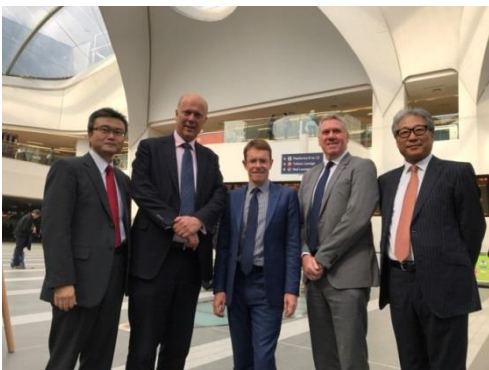
- インド鉄道省が、ムンバイ・アーメダバード間を最優先とする「インド鉄道ビジョン2020」を発表。
- 2015年、日印共同声明で、ムンバイ・アーメダバード間の高-speed鉄道路線が日本の新幹線システム及び経験を利用して整備されることを確認。
- 日本コンサルタント(株)はJICAから、2016年3月に「インド国高速鉄道に係る制度整備支援プロジェクト」、12月に「インド国高速鉄道建設事業詳細設計調査」を受注。
- 2017年9月14日、安倍首相・モディ首相・富田社長出席のもと、起工式実施。



英国フランチャイズ参画に向けた取組み

【概要】

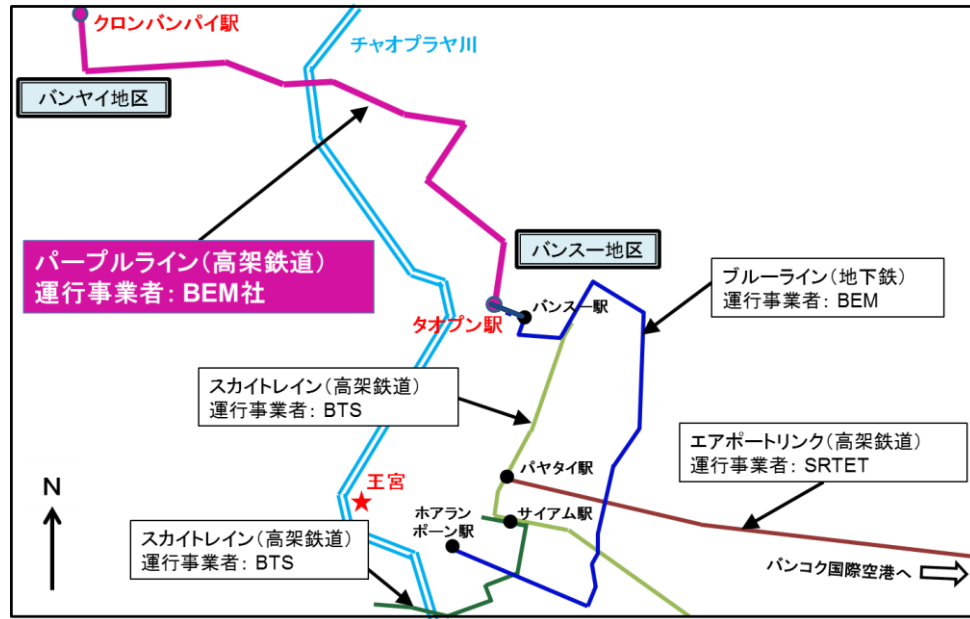
- 上下分離された旅客運行部門が19の地域に分かれ、概ね7~10年オペレーションする権利を入札で決定。
- ウェストミッドランズ案件の運営権獲得に向けて、アベリオUK、三井物産とともに入札。2017年8月10日、運営権を授与する旨公表があった。この事業は、ロンドンへの通勤路線、ロンドンからリバプールまでをつなぐ長距離路線、バーミンガムの都市圏輸送を担うもの。
- 本事業は、当社が海外鉄道運行に関わる初めての案件。



タイ・バンコク パープルラインへの事業参画

【概要】

- 2016年8月に営業開始。バンコク北部バンスー地区と北西郊外のバンヤイ地区を結ぶ路線。
- 丸紅、東芝との共同出資により新たなメンテナンス会社「Japan Transportation Technology (Thailand) Co., Ltd.」をバンコクに設立
- 3両編成のステンレス製車両21編成(63両)をJ-TRECが新造し、パープルライン用に供給



インドネシア・中古車両の譲渡及びメンテナンス技術支援

【概要】

- 2013年からの3年間、埼京線等で使用していた205系の中古車両計476両を、ジャカルタ近郊の都市鉄道を担う現地企業に譲渡
- 譲渡した車両が現地で安定的に運行できるよう、2013年から車両のメンテナンスに関わる支援を実施してきたほか、新たにサービス向上につながる支援も実施。

